



Informatica® Cloud Data Integration July 2024

概要

Informatica Cloud Data Integration 概要

July 2024

© 著作権 Informatica LLC 2017, 2024

本ソフトウェアおよびマニュアルは、使用および開示の制限を定めた個別の使用許諾契約のもとでのみ提供されています。本マニュアルのいかなる部分も、いかなる手段（電子的複写、写真複写、録音など）によっても、Informatica LLC の事前の承諾なしに複製または転載することは禁じられています。

米政府の権利プログラム、ソフトウェア、データベース、および関連文書や技術データは、米国政府の顧客に配信され、「商用コンピュータソフトウェア」または「商業技術データ」は、該当する連邦政府の取得規制と代理店固有の補足規定に基づきます。このように、使用、複製、開示、変更、および適応は、適用される政府の契約に規定されている制限およびライセンス条項に従うものとし、政府契約の条項によって適当な範囲において、FAR 52.227-19、商用コンピュータソフトウェアライセンスの追加権利を規定します。

Informatica、Informatica Cloud、Informatica Intelligent Cloud Services、PowerCenter、PowerExchange、および Informatica ロゴは、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。Informatica の商標の最新リストは、Web (<https://www.informatica.com/trademarks.html>) にあります。その他の企業名および製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

本ソフトウェアまたはドキュメンテーション（あるいはその両方）の一部は、第三者が保有する著作権の対象となります。必要な第三者の通知は、製品に含まれています。

本マニュアルの情報は、予告なしに変更されることがあります。このドキュメントで問題が見つかった場合は、infa_documentation@informatica.com までご報告ください。

Informatica 製品は、それらが提供される契約の条件に従って保証されます。Informatica は、商品性、特定目的への適合性、非侵害性の保証等を含めて、明示的または黙示的ないかなる種類の保証をせず、本マニュアルの情報を「現状のまま」提供するものとしします。

発行日: 2024-10-24

目次

序文	4
第 1 章 : Informatica Cloud® データ統合について	5
データ統合.....	6
ホームページ.....	6
Data Integration タスク.....	8
データトランスフォーメーションのオプション.....	9
コネクタ.....	9
管理者.....	10
モニタ.....	11
Informatica Intelligent Cloud Services のセキュリティ.....	11
REST API.....	11
第 2 章 : データ統合ツール	12
プロジェクト.....	12
アセット.....	12
テンプレート.....	13
[エクスプローラ] ページ.....	14
第 3 章 : Informatica のリソース	18
Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト.....	18
Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティ.....	18
Informatica Intelligent Cloud Services マーケットプレイス.....	18
Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center.....	19
Informatica 製品可用性マトリックス.....	19
Informatica マニュアル.....	19
データ統合のコネクタのドキュメント.....	19
Informatica ナレッジベース.....	20
Informatica グローバルカスタマサポート.....	20
索引	21

序文

Informatica Intelligent Cloud ServicesSM データ統合を使用して実行できるタスクについて学ぶには、「概要」を参照してください。

第 1 章

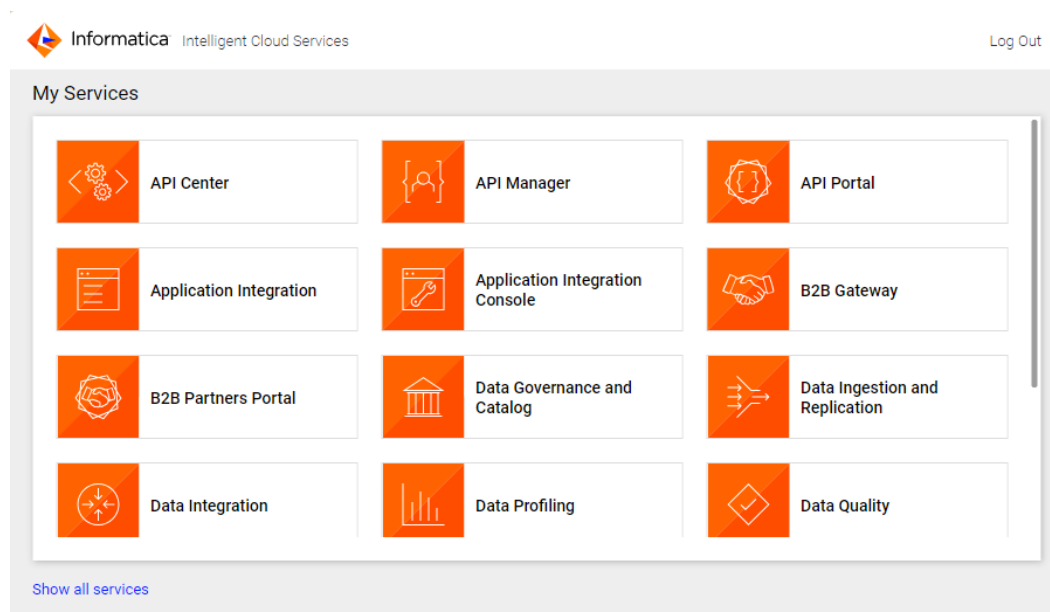
Informatica Cloud[®] データ統合について

Informatica Intelligent Cloud ServicesSM は、生産性を向上し、速度とスケールを改善するように設計された複数のクラウドデータ管理製品を含むサービスとしての統合プラットフォーム (iPaas) です。

Informatica Cloud[®] データ統合は、Informatica Intelligent Cloud ServicesSMで利用可能な複数のサービスの 1 つです。データ統合を使用すると、データのロード、変換、および統合を簡単に行うことができます。

Informatica Intelligent Cloud Services にログインすると、**[マイサービス]** ページにデータ統合サービスとデータ統合に適用するサービスが表示されます。また、**[マイサービス]** ページには、サブスクライブしている他のサービスとトライアル版の他のサービスも含まれる場合があります。

次の図は、**[マイサービス]** ページを示しています。



次のサービスがデータ統合に適用されます。

データ統合

データ統合プロジェクトを管理し、マッピング、タスク、およびタスクフローなどのアセットを作成し、タスクとタスクフローを実行します。

管理者

ユーザーの作成、特権の管理、Secure Agent のダウンロード、ランタイム環境の構成、接続の構成、ライセンスの管理、スケジュールの作成などの管理タスクを実行します。

モニタ

進行中のタスクと完了したタスクの状態を確認します。

アプリケーションの統合、Data Quality、Cloud 統合ハブ、オペレーションインサイトなどの他のサービスをデータ統合で使用することもできます。

注: ヘルプに記載されている機能の一部は、組織の Informatica Intelligent Cloud Services ライセンス契約により利用できない場合があります。

データ統合

データ統合を使用して、データの読み込み、変換、および統合を行います。データ統合プロジェクトを作成し、データ統合タスクを実行することができます。

データ統合は、クラウドデータの統合および管理向けの完全なプラットフォームを提供するオンデマンドのサブスクリプションサービスです。データ統合を使用すると、事前に構築された、マッピングとトランスフォーメーション用の関数とテンプレートを使用して、高度かつ複雑な統合を構築および実行できます。データ統合には、ビジネスニーズに合わせてさまざまなデータ統合プロジェクトを作成するために必要な機能があります。

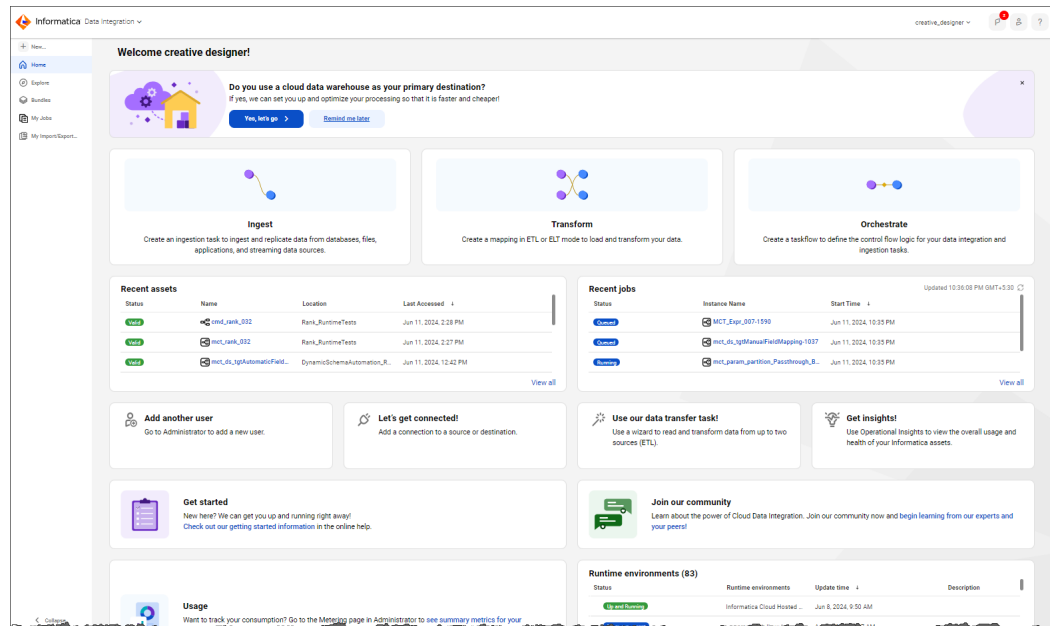
ホームページ

[マイサービス] ページでデータ統合を選択すると、**[ホーム]** ページが表示されます。**[ホーム]** ページでは、データ統合ユーザーとデータ取り込みおよびレプリケーションユーザー向けに、ガイド付きの統合エクスペリエンスが提供されます。

[ホーム] ページは、組織内のユーザーごとにカスタマイズされます。**[ホーム]** ページには、次の基準に基づいてさまざまなパネルが表示されます。

- 組織のライセンス
- ユーザーのロール
- プライマリクラウドデータウェアハウスを設定したかどうか
- 組織にランタイム環境があるかどうか
- アセットを作成したか、ジョブを実行したか

例えば、すでにアセットを作成してジョブを実行している管理者ユーザーの場合は、次の画像のような【ホーム】ページが表示されます。



このページには、次のようなパネルの行が表示されます。

クラウドデータウェアハウスをメインの接続先として使用しますか？

このパネルは、クラウドデータウェアハウスがメインの接続先として選択されていない場合に表示されます。【次へ】をクリックして、プライマリクラウドデータウェアハウスを選択します。データを異なる場所にロードする場合は、このパネルを閉じてページの下部に移動することができます。

プライマリタスクパネル

次のパネルを使用して、データのロードと変換を行います。

- **取り込み。** データを取り込んで複製するためのデータ取り込みおよびレプリケーションタスクを作成します。
- **トランスフォーメーション。** データ転送タスクまたはマッピングを作成して、データをロードし、変換します。
- **調整。** タスクフローを作成して、タスクの制御フローロジックを定義します。

プライマリクラウドデータウェアハウスを選択した場合、パネル名にはデータウェアハウスのタイプが含まれます（例: **Snowflake への取り込み**）。

最近のアセット、最近のジョブ

これらのパネルには、最近変更したアセットと、最近実行したジョブが表示されます。

セカンダリタスクパネル

これらのパネルを使用すると、ユーザーの追加、接続の作成、マプレットの作成などの他のタスクを実行することができます。

【ヘルプ】パネル

これらのパネルを使用して、作業の開始情報を表示したり、コミュニティにアクセスしてヘルプを求めたりします。

使用法、ランタイム環境

これらのパネルを使用すると、使用状況メトリックにアクセスしたり、使用可能なランタイム環境のステータスをそれぞれ表示したりすることができます。

マッピングテンプレートを試してみてください。

このパネルをクリックすると、事前定義済みのマッピングテンプレートに基づいてマッピングが作成されます。

また、ナビゲーションバーから次のページにアクセスできます。

- **新規。** マッピング、タスク、タスクフローなどの新しいデータ統合アセットを作成します。最初からアセットを作成することも、テンプレートをヘッドスタートとして使用することもできます。
- **ホーム。** ホームページに戻ります。
- **エクスプローラ。** プロジェクトとアセットを作成および管理します。
- **バンドル。** 自分の組織または他の組織と共有するアセットのバンドルを作成および管理します。
- **マイジョブ。** マッピング、タスク、タスクフローのインスタンスのステータスを表示します。
- **マイインポート/エクスポートログ。** インポートとエクスポートのステータスを表示します。

データ統合から管理者またはモニタなどの別のサービスに切り替える場合、ナビゲーションバーのオプションがサービスに合わせて変更されます。

Data Integration タスク

次のタスクを使用して、データ統合でデータを統合および変換できます。

- **マッピングタスク。** マッピングで定義したデータフローロジックに基づいてデータを処理します。
- **同期タスク。** データをロードし、アプリケーション、データベース、およびファイルを統合します。マップレットなどのアドオン機能が含まれます。
- **マスキングタスク。** 非稼働環境の現実的なテストデータを使用して、機密性の高い列のソースデータを置き換えます。マスキングルールでは、機密データを置換するロジックを定義します。マスクする必要があるコラムにマスキングルールを割り当てます。
- **レプリケーションタスク。** Salesforce またはデータベースソースのデータをデータベースまたはファイルターゲットにレプリケートします。データのアーカイブ、オフラインでのレポート作成、データの統合および管理を行うために、データをレプリケートすることができます。
- **PowerCenter タスク。** PowerCenter ワークフローをインポートし、データ統合 PowerCenter タスクとして実行します。
- **動的マッピングタスク。** 動的マッピングタスクを使用して、同じマッピングに基づいて複数のジョブを作成およびバッチ処理します。
- **データ転送タスク。** データ転送タスクを使用して、オンプレミスデータベースからクラウドデータウェアハウスにデータを転送するといったソースからターゲットへのデータの転送を行います。必要に応じて、ルックアップソースからのデータでソースデータを拡張し、ターゲットにロードする前にデータをソートおよびフィルタリングすることができます。

タスクフローは、複雑なデータ統合プロジェクトに使用できます。タスクフローは、複数のデータ統合タスクの実行シーケンスをオーケストレーションします。

データトランスフォーメーションのオプション

ウィザード、Mapping Designer、または SQL ELT Mapping Designer を使用して、データ統合でデータを変換できます。

[ホーム] ページの **[変換]** パネルをクリックすると、データを変換するための次のようなオプションが表示されます。

ウィザードを使用する

データ転送タスクを作成するには、このオプションを選択します。

データ転送タスクでは、段階的なウィザードベースのインタフェースを使用して、ソースからターゲットにデータを転送します。例えば、データ転送タスクを作成して、オンプレミスデータベースからクラウドデータウェアハウスにデータを転送できます。

必要に応じて、ルックアップソースからのデータでソースデータを拡張し、ターゲットにロードする前にデータをソートおよびフィルタリングすることもできます。

Mapping Designer を使用する

このオプションを選択すると、Mapping Designer を使用してマッピングが作成されます。

マッピングは、ソース、ターゲット、およびトランスフォーメーションオプションに柔軟性が必要な場合に作成します。マッピングは、さまざまな異種データソースに対して読み取りおよび書き込みを行うことができます。また、さまざまなデータ変換オプションも提供します。

このオプションを選択すると、詳細モードに切り替えて、マルチレベルの階層データ、埋め込みコードスニペット、またはワークロードを任意のスケールで処理することができます。詳細モードのマッピングには、マッピングロジックを実行するための詳細クラスタが必要です。

マッピングまたは詳細モードのマッピングを実行した場合、データ統合はトランスフォーメーションロジックを処理します。ただし、ソース、ターゲット、またはその両方にトランスフォーメーションロジックの一部または全部をプッシュするという選択もできます。

SQL ELT Mapping Designer を使用する

このオプションを選択すると、Mapping Designer を使用して SQL ELT モードでマッピングが作成されます。

ソースとターゲットが同じクラウドエコシステム内にあり、データ変換をクラウドエコシステム内で完全に実行する場合は、SQL ELT モードのマッピングを作成します。例えば、Snowflake クラウドデータウェアハウスまたはデータレイクからデータを読み取り、Snowflake クラウドデータウェアハウスにロードして、Snowflake 内ですべてのデータ変換を実行するとします。

SQL ELT モードのマッピングを実行すると、データ統合は、トランスフォーメーションロジックを、基盤となるクラウドデータウェアハウスで実行されるエコシステム固有の SQL 文およびコマンドに変換します。

ナビゲーションバーの **[新規]** をクリックして、データ転送タスクとマッピングを作成することもできます。

コネクタ

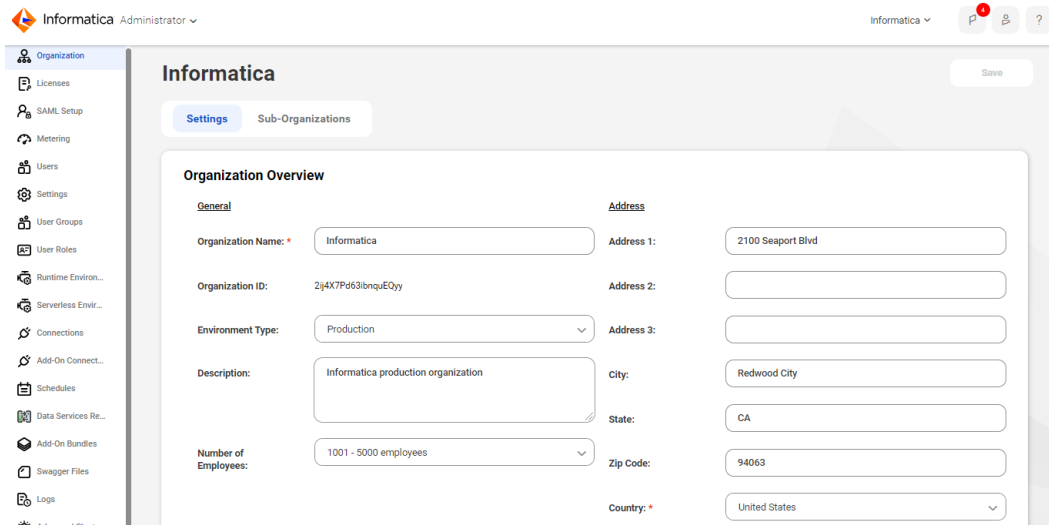
Informatica Intelligent Cloud Services ではデータ統合用のさまざまなコネクタを使用できます。コネクタを使用して、クラウドとオンプレミスのアプリケーション、プラットフォーム、データベース、フラットファイルのデータにアクセスを提供する接続を作成します。

一部のデータ統合設定はコネクタに固有です。詳細については、関連するコネクタのヘルプを参照してください。

管理者

Informatica Intelligent Cloud Services の管理タスクは管理者サービスで実行されます。

[マイサービス] ページから管理者を選択すると、ナビゲーションに次の図に示すような Informatica Intelligent Cloud Services の管理オプションが表示されます。



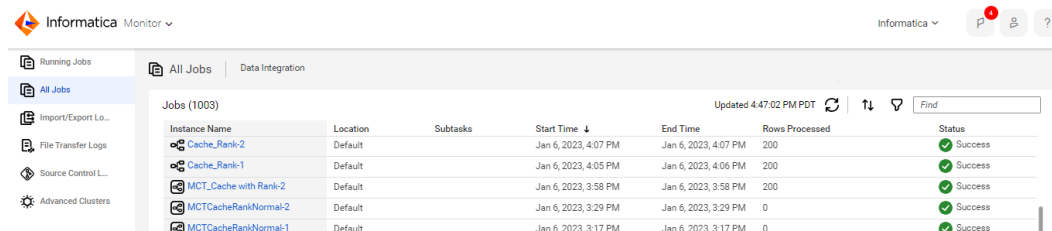
使用ライセンスに応じて次のオプションが利用可能です。

- 組織。組織の詳細およびサブ組織を管理します。
- ライセンス。組織のライセンスを表示して、サブ組織ライセンスを管理します。
- エコシステムのシングルサインオン。Microsoft Azure を介して組織を作成する場合、Azure ユーザーに一部のシングルサインオンプロパティを設定します。
- SAML セットアップ。SAML シングルサインオンを設定します。
- 設定。Secure Agent サービスのソースの制御設定およびアップグレード設定を指定します。
- ユーザー。新しいユーザーを追加します。個々のユーザーのユーザーグループとロールを設定します。
- ユーザーグループ。ユーザーグループを作成する。ユーザーをユーザーグループに割り当てます。
- ユーザーロール。組織のユーザーロールを管理します。各ロールに関連付けられた特権を設定します。
- ランタイム環境。Secure Agent と Secure Agent グループを設定します。
- 接続。接続を作成および管理します。
- アドオンコネクタ。アドオンコネクタをインストールします。
- スケジュール。タスクのスケジュールを作成および管理します。
- アドオンバンドル。組織のバンドルをインストール、アンインストール、アップグレード、およびコピーします。
- Swagger ファイル。REST V2 接続用の Swagger ファイルを生成します。
- ログ。アセットとセキュリティログを表示します。
- ファイルサーバー。ファイル転送サーバーおよびファイル転送ユーザーを設定して、リモートパートナーが組織にファイルを送信できるようにします。

モニタ

組織内のジョブの監視、インポート、エクスポートにはモニタを使用します。ジョブは、マッピング、タスク、またはタスクフローのインスタンスです。

[マイサービス] のモニタを選択すると、次の図に示すように、ナビゲーションバーにアクティビティを監視するためのオプションが表示されます。



ナビゲーションバーには次のオプションがあります。

- 実行中のジョブ。実行中または直近 5 分以内に完了したデータ統合ジョブのリアルタイムの詳細を提供します。
- すべてのジョブ。組織内のすべてのデータ統合ジョブの詳細を提供します。
- データ取り込み。組織内のデータ取り込みおよびレプリケーションジョブの詳細を提供します。
- インポート/エクスポートログ。実行中または完了済みのインポートとエクスポートの詳細を提供します。
- ファイル転送ログ。組織内のファイル転送に関する詳細を提供します。
- ソース管理ログ。組織内のソース管理オブジェクトでアクションのログを提供します。

特定のジョブ、インポートインスタンス、またはエクスポートインスタンスの詳細を表示するには、インスタンス名をクリックします。

Informatica Intelligent Cloud Services のセキュリティ

Informatica Intelligent Cloud Services は、認証と暗号化を使用して、データの安全性を確保し、組織内のユーザーのみがそのデータを使用できるようにします。Informatica Intelligent Cloud Services は、業界認定のアルゴリズムを使用して機密情報を暗号化します。保存されている顧客データはすべて AES-256 キーを使用して暗号化されます。送信中のデータは、TLS 1.2 プロトコルを使用して暗号化されます。

詳細については、[Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center](#) を参照してください。

REST API

組織に REST API ライセンスがある場合は、ユーザーインターフェースではなく REST API 呼び出しを使用して Informatica Intelligent Cloud Services と対話できます。

詳細については、[REST API リファレンス](#)を参照してください。

第 2 章

データ統合ツール

Informatica Intelligent Cloud Services には、データ統合のビジネスニーズを満たすために使用できる次のツールが用意されています。

- プロジェクト
- アセット
- テンプレート
- [エクスプローラ] ページ

プロジェクト

Informatica Intelligent Cloud Services アセットはプロジェクト内に整理されています。プロジェクトに必要なアセットを含める複数のフォルダをプロジェクト内に作成できます。

例えば、会社の営業活動の月次分析を行う必要があるとします。「月次売上分析」というプロジェクトを作成します。分析の実行を目的として、さまざまなシステムからのデータを統合するために、月単位で使用するアセットを含むフォルダを作成します。

プロジェクトで使用するアセットのタイプは、使用するサービスによって異なります。例えば、データ統合プロジェクトには、マッピング、タスク、タスクフローなどのアセットを含めることができます。

アセット

データ統合のアセットには、マッピング、タスクフロー、タスク（マッピングタスク、同期タスク、レプリケーションタスクなど）があります。アセットには、ビジネスサービス、マップレット、階層スキーマなどのコンポーネントも含まれます。

ビジネスニーズを満たすために必要なアセットを作成します。テンプレートは、特定のアセットタイプで使用できます。テンプレートはそのまま使用することも、ヘッドスタートとして使用して、ニーズに合わせてカスタマイズすることもできます。

複数のプロジェクトでアセットを使用できます。すべてのアセットは、少なくとも1つのプロジェクトの一部である必要があります。プロジェクトを指定せずにアセットを作成すると、そのアセットはデフォルトプロジェクト内に作成されます。

テンプレート

マッピング、マッピングタスク、またはタスクフローなどのアセットを作成する場合は、アセットを最初から作成するか、またはテンプレートを使用することができます。データ統合には、プロジェクトをジャンプスタートするためのさまざまなデータ操作テンプレートが用意されています。テンプレートには、データ統合、クレンジング、およびウェアハウジング作業に使用できる、あらかじめ構築されたロジックが含まれています。

アセットをすばやく作成するために、データ統合には、次のタイプのテンプレートが用意されています。

マッピングテンプレート

マッピングテンプレートは、変換ロジックと必要なパラメータが定義されたマッピングです。データ統合には、データの統合、データのクレンジング、および緩やかに変化するディメンションテーブルの読み込みのためのマッピングテンプレートが用意されています。例えば、**[2つのデータソースのマージ]** マッピングテンプレートは、1つのソースのフィールドが空の場合、他方のソースの値が使用されるように、2つのソースをマージするマッピングです。

テンプレートマッピングのいずれかでロジックを再利用するときに、テンプレートからマッピングを作成しますが、このマッピングは必要に応じてカスタマイズすることもできます。マッピングが完了したら、マッピングタスクを作成して実行します。

例えば、1つのソースのフィールドが空の場合、他方のソースの値が使用されるように、2つのソースをマージする必要があります。ただし、データをターゲットにロードする前にソートする必要があります。**[2つのデータソースのマージ]** マッピングテンプレートに基づいてマッピングを作成し、ソーター変換を追加して、データをターゲットにロードする前にソートできるようにします。次に、マッピングを実行するマッピングタスクを作成します。

タスクテンプレートのマッピング

マッピングタスクテンプレートは、テンプレートマッピングに基づくタスクのマッピングです。変換ロジックを変更せずにテンプレートマッピングのいずれかを実行する場合は、マッピングタスクテンプレートを使用します。マッピングタスクを作成するときには、ランタイム環境、ソース情報、ターゲット情報、その他のマッピングパラメータの値などのランタイム情報を指定するだけで済むようになります。

例えば、参照テーブルの追加フィールドを使用して、リレーショナルソースのデータを拡張するとします。**[ルックアップでデータを拡張]** テンプレートに基づいて、マッピングタスクを作成します。マッピングタスクウィザードで、ランタイム環境、ソーステーブル、ターゲットテーブル、ルックアップテーブル、ルックアップ条件などのランタイム情報を入力します。

タスクフローテンプレート

タスクフローテンプレートは、共通の制御フローロジックを含むタスクフローです。

タスクフローテンプレートを使用して、順次、並行、または決定に基づいた一般的な方法でタスクを整理します。テンプレートに基づいてタスクフローを作成すると、フローは事前に定義されています。タスクを追加および削除して、実際のタスクフローを反映します。

[エクスプローラ] ページ

[参照] ページを使用して、Informatica Intelligent Cloud Services プロジェクト、フォルダ、およびアセットを操作します。

[参照] ページでのプロジェクトとアセットの検索

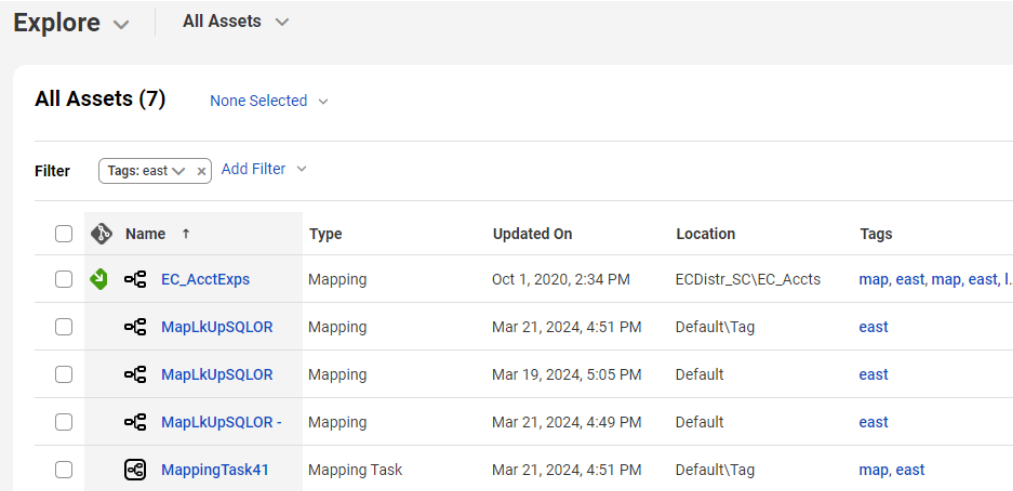
次のいずれかの方法を使用して、**[参照]** ページでプロジェクトとアセットを検索します。

- プロジェクトやフォルダで検索。すべてのプロジェクトを表示するか、または特定のプロジェクトを選択します。
- アセットタイプで検索。すべてのアセットを表示するか、または特定のタイプのアセットを表示します。
- タグで検索。特定のタグに関連付けられたアセットを表示します。
- プロジェクト、フォルダ、またはアセットを検索します。組織内のプロジェクト、フォルダ、およびアセットを検索するには、**[すべてのプロジェクト]** により **[参照]** ページを表示して、**[検索]** ボックスに名前または説明を入力します。または、**[アセットタイプ]** により **[参照]** ページを表示して検索を絞り込むか、**[すべてのアセット]** リストからアセットタイプを選択します。次に、**[検索]** ボックスに名前または説明の全体または一部を入力します。
- 検索結果をソートします。名前、アセットタイプ、最終更新日、作成日、または説明で **[エクスプローラ]** ページをソートします。**[タイプ]** でソートすると、**[参照]** ページではアセットがアセットタイプ別にグループ化されます。アセットタイプはアルファベット順で表示されるわけではありません。
- ページでオブジェクトをフィルタします。オブジェクトをフィルタするには、**[フィルタ]** アイコンをクリックします。フィルタを適用するには、**[フィルタの追加]** をクリックし、フィルタ対象のプロパティを選択してから、プロパティ値を入力します。利用可能なフィルタは、ページの表示方法により異なります。複数のフィルタを指定できます。

例えば、SW Region タグが使用されている組織ですべてのアセットを検索するには、**[すべてのアセット]** で **[参照]** ページを表示してから **[フィルタ]** アイコンをクリックします。**[タグ]** フィルタを追加し、「SW Region」と入力します。

結果のサイズが大きい場合（オブジェクト数が 1,000 を超える場合など）、すべてのオブジェクトが **[参照]** ページに表示されますが、ページの上部と下部に表示されるオブジェクトの総数は、しばらくの間は概算になります。

ヒント: フィルタリングは、**[参照]** ページに加えて他のページでも利用できます。例えば、**[アセットのインポート]** ページで、ステータスでフィルタリングして、正常にインポートされたアセットを見つけることができます。



The screenshot shows the 'Explore' interface with 'All Assets' selected. A filter for 'Tags: east' is applied. The table below lists the assets:

<input type="checkbox"/>	Name ↑	Type	Updated On	Location	Tags
<input type="checkbox"/>	EC_AcctExps	Mapping	Oct 1, 2020, 2:34 PM	ECDistr_SC\EC_Accts	map, east, map, east, l...
<input type="checkbox"/>	MapLkUpSQLOR	Mapping	Mar 21, 2024, 4:51 PM	Default\Tag	east
<input type="checkbox"/>	MapLkUpSQLOR	Mapping	Mar 19, 2024, 5:05 PM	Default	east
<input type="checkbox"/>	MapLkUpSQLOR -	Mapping	Mar 21, 2024, 4:49 PM	Default	east
<input type="checkbox"/>	MappingTask41	Mapping Task	Mar 21, 2024, 4:51 PM	Default\Tag	map, east

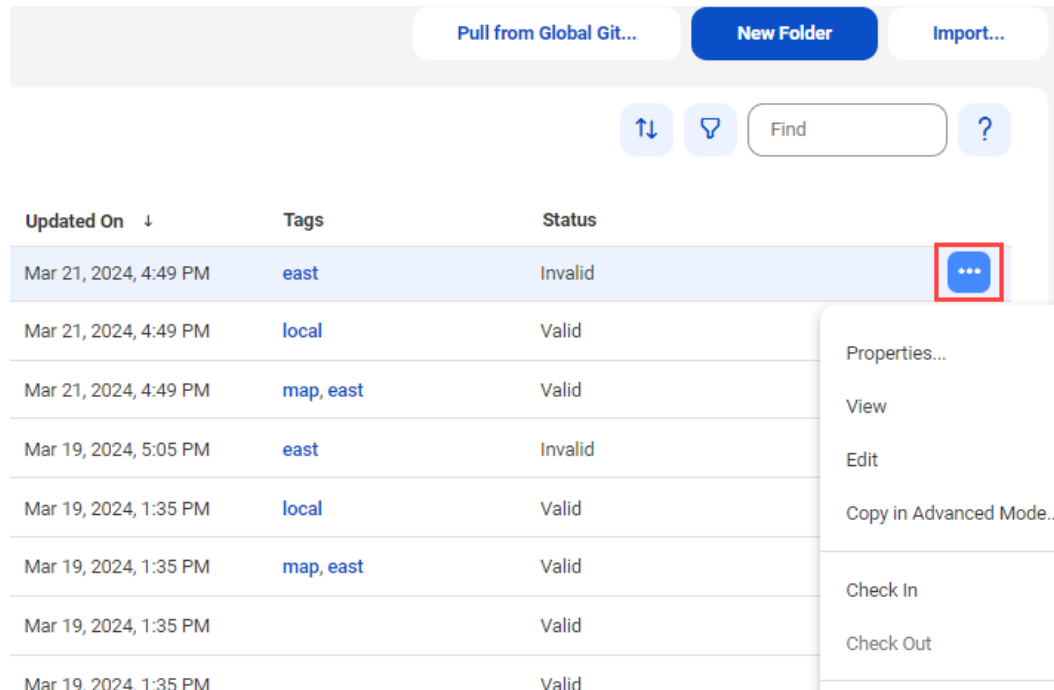
使用するすべてのサービスのプロジェクト、フォルダ、アセットを表示できます。アセットを選択して開くか、アクションを実行し、開いたアセットとは別のサービスでアセットを作成すると、このサービスで新しいブラウザタブが開きます。

次の文字は使用できません。

? ' | { } " ^ & [] / \

[参照] ページでのプロジェクトとアセットの操作

[参照] ページで、プロジェクト、フォルダおよびアセットに対するアクションを実行します。オブジェクトに対して実行できる操作を確認するには、オブジェクトを含む行で、次の図に示すように、[アクション] アイコンをクリックします。



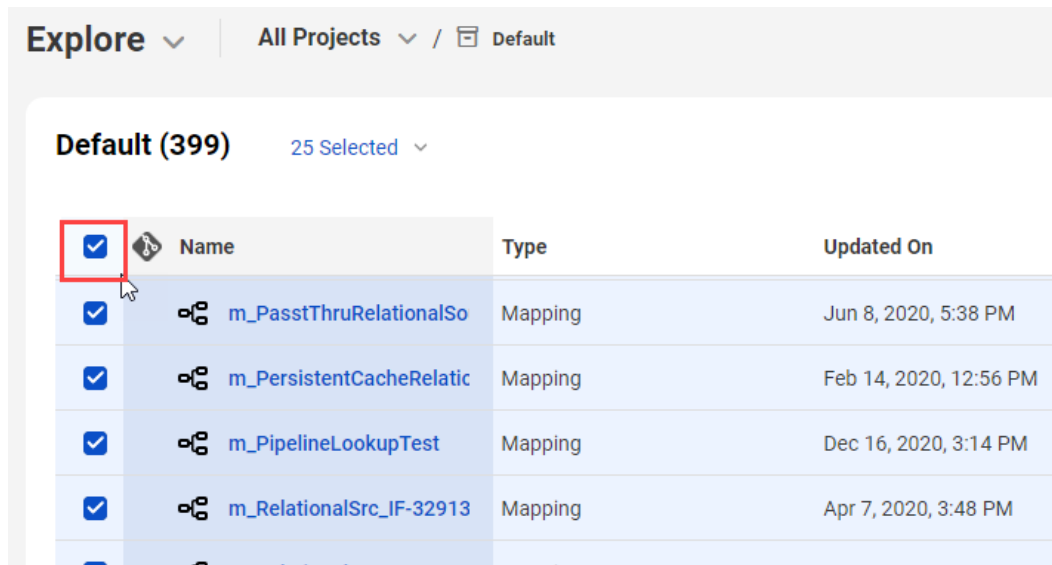
The screenshot shows the top part of the [参照] page. At the top, there are buttons for "Pull from Global Git...", "New Folder", and "Import...". Below these are icons for sorting (up/down arrows), filtering (funnel), a "Find" search box, and a help icon (?). The main content is a table with columns "Updated On", "Tags", and "Status". The first row is highlighted in blue and has a red box around a three-dot menu icon. A dropdown menu is open for this row, listing actions: "Properties...", "View", "Edit", "Copy in Advanced Mode...", "Check In", and "Check Out".

Updated On ↓	Tags	Status	
Mar 21, 2024, 4:49 PM	east	Invalid	⋮
Mar 21, 2024, 4:49 PM	local	Valid	
Mar 21, 2024, 4:49 PM	map, east	Valid	
Mar 19, 2024, 5:05 PM	east	Invalid	
Mar 19, 2024, 1:35 PM	local	Valid	
Mar 19, 2024, 1:35 PM	map, east	Valid	
Mar 19, 2024, 1:35 PM		Valid	
Mar 19, 2024, 1:35 PM		Valid	

[アクション] メニューには、ユーザーロール特権および選択したオブジェクトで指定した権限に基づいて実行できるアクションが一覧表示されます。例えば、ユーザーロールにタスクの表示と実行を行う権限を指定して、タスクの削除は行えないように指定できます。タスクの作成者によって設定された権限により、特定のタスクを実行する権限がない場合があります。

また、一度に複数のオブジェクトに対してアクションを実行することもできます。各オブジェクトの左側にあるチェックボックスを選択するか、[すべて選択] チェックボックスを選択して、現在のページに表示されてい

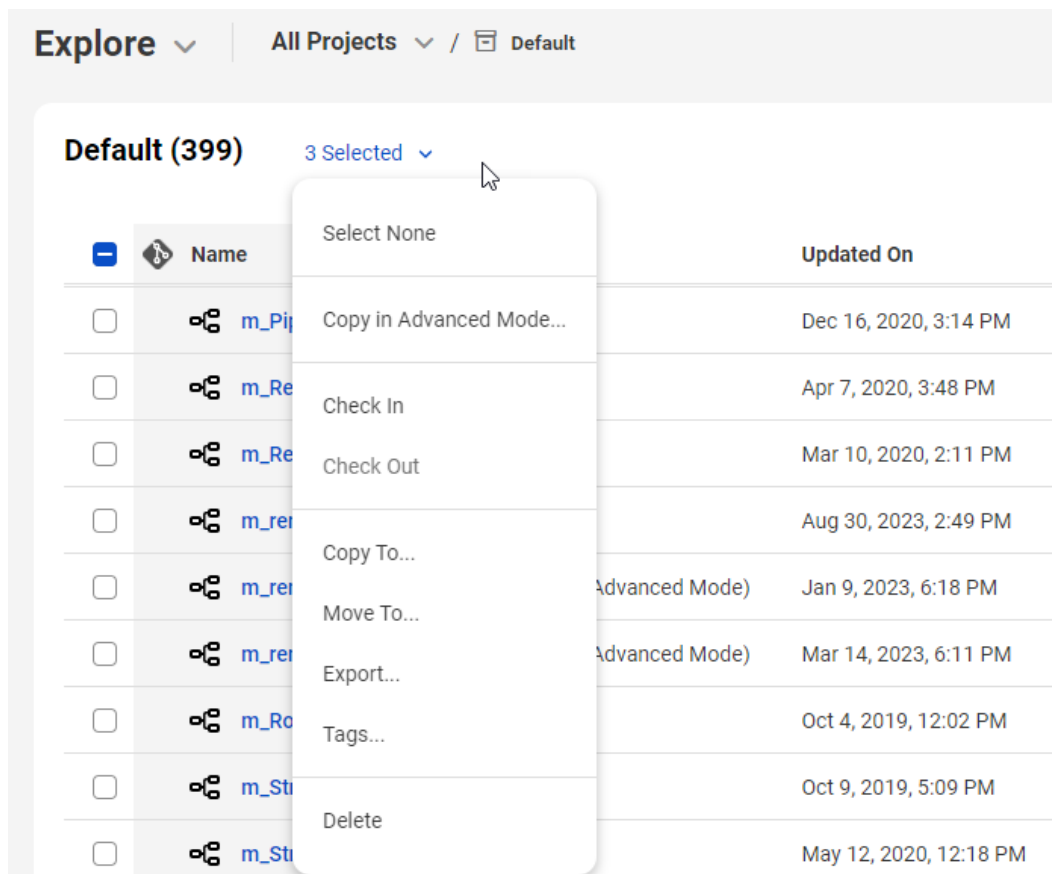
るすべてのオブジェクトを選択します。次の図は、[すべて選択] チェックボックスを選択した状態を示しています。



オブジェクトを選択した後で、任意の選択したオブジェクトの行で **【アクション】** をクリックします。

[アクション] メニューには、ユーザーロールおよび権限に基づき、選択したアセットで使用可能なアクションが一覧表示されます。

または、次の図に示すように、[選択] メニューを使用してアクションを選択します。



[参照] ページのカスタマイズ

[エクスプローラ] ページでは、カラムの表示、非表示の設定、または順番の変更ができます。カラムを表示または非表示にするには、カラム見出し領域を右クリックして、リスト内のカラム見出しを選択するか、クリアします。リストの見出しは、プロジェクト、アセット、またはタグが [参照] ページに表示されているかどうかによって異なります。

次の例では、[すべてのプロジェクト] を選択すると、[更新者]、[作成日]、および [作成者] カラムが非表示になります。

The screenshot shows the 'Explore' interface with a table of mapping assets. The table has columns for Name, Type, and Updated On. A context menu is open over the 'Type' column header, with 'Type' selected. The 'Updated On' column is currently hidden.

	Name	Type	Updated On
<input type="checkbox"/>	m_PipelineLookupTest	Mapping	
<input type="checkbox"/>	m_RelationalSrc_IF-329	Mapping	
<input type="checkbox"/>	m_RelationalTarget	Mapping	
<input type="checkbox"/>	m_remove_duplicates	Mapping	
<input type="checkbox"/>	m_remove_duplicates-1	Mapping (Advanced Mod)	
<input type="checkbox"/>	m_remove_duplicates-1	Mapping (Advanced Mod)	
<input type="checkbox"/>	m_RouteCustDataByTie	Mapping	Oct 4, 2019, 12:02 PM

列を再配置するには、カラム見出しをクリックし、別の場所にドラッグします。

第 3 章

Informatica のリソース

オンラインヘルプに加えて、次のリソースを使用して Informatica Intelligent Cloud Services に関する情報を確認することができます。

Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト

Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト (<http://www.informatica.com/cloud>) にアクセスできます。このサイトには、Informatica Cloud 統合サービスに関する情報が含まれます。

Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティ

Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティを使用して、技術的な問題について議論し、解決します。また、技術的なヒント、マニュアルの更新情報、FAQ（よくある質問）への答えを得ることもできます。

次の Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティにアクセスします。

<https://network.informatica.com/community/informatica-network/products/cloud-integration>

開発者は、次の Cloud 開発者コミュニティで詳細情報を確認したり、ヒントを共有したりできます。

<https://network.informatica.com/community/informatica-network/products/cloud-integration/cloud-developers>

Informatica Intelligent Cloud Services マーケットプレイス

Informatica マーケットプレイスにアクセスすると、データ統合コネクタ、テンプレート、およびマップレットを試用したり購入したりできます。

<https://marketplace.informatica.com/>

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center は、Informatica のセキュリティポリシーおよびリアルタイムでのシステムの可用性について情報を提供します。

Trust Center (<https://www.informatica.com/trust-center.html>) にアクセスします。

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center にサブスクライブして、アップグレード、メンテナンス、およびインシデントの通知を受信します。[Informatica Intelligent Cloud Services Status](#) ページには、すべての Informatica Cloud 製品の実稼働ステータスが表示されます。メンテナンスの更新はすべてこのページに送信され、停止中は最新の情報が表示されます。更新と停止の通知がされるようにするには、Informatica Intelligent Cloud Services の 1 つのコンポーネントまたはすべてのコンポーネントについて更新の受信をサブスクライブします。すべてのコンポーネントにサブスクライブするのが、更新を逃さないようにするための最良の方法です。

サブスクライブするには、[Informatica Intelligent Cloud Services Status](#) ページで **[サブスクライブして更新]** をクリックします。電子メール、SMS テキストメッセージ、Webhook、RSS フィード、またはこの 4 つの任意に組み合わせとして送信される通知を受信するという選択ができます。

Informatica 製品可用性マトリックス

製品可用性マトリックス (PAM) には、製品リリースでサポートされるオペレーティングシステム、データベースなどのデータソースおよびターゲットが示されています。Informatica PAM は、<https://network.informatica.com/community/informatica-network/product-availability-matrices> で参照できます。

Informatica マニュアル

Informatica マニュアルポータルでは、最新および最近の製品リリースに関するドキュメントの膨大なライブラリを参照できます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

製品マニュアルに関する質問、コメント、ご意見については、Informatica マニュアルチーム (infa_documentation@informatica.com) までご連絡ください。

データ統合のコネクタのドキュメント

データ統合のコネクタのドキュメントには、マニュアルポータルからアクセスできます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

Informatica ナレッジベース

Informatica ナレッジベースを使用して、ハウツー記事、ベストプラクティス、よくある質問に対する回答など、製品リソースを見つけることができます。

ナレッジベースを検索するには、<https://search.informatica.com> にアクセスしてください。ナレッジベースに関する質問、コメント、ご意見の連絡先は、Informatica ナレッジベースチーム (KB_Feedback@informatica.com) です。

Informatica グローバルカスタマサポート

グローバルサポートセンターには、Informatica Network または電話でお問い合わせください。

Informatica Network でオンラインサポートリソースを検索するには、Informatica Intelligent Cloud Services のヘルプメニューで **[サポートにお問い合わせください]** をクリックして、**Cloud Support** ページに移動します。**Cloud Support** ページには、システムステータス情報とコミュニティディスカッションが記載されています。追加のリソースを検索する場合や電子メールで Informatica グローバルカスタマサポートに問い合わせる場合は、Informatica Network にログインし、**[サポートが必要な場合]** をクリックしてください。

Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica の Web サイト <https://www.informatica.com/services-and-training/support-services/contact-us.html> に掲載されています。

索引

C

Cloud アプリケーション統合コミュニティ
URL [18](#)
Cloud 開発者コミュニティ
URL [18](#)

I

Informatica Intelligent Cloud Services
Web サイト [18](#)
Informatica グローバルカスタマサポート
連絡先情報 [20](#)

R

REST API [11](#)

T

TLS
セキュリティ [11](#)

W

Web サイト [18](#)

あ

アクション [14](#)
アセット [12, 14](#)
アセットとプロジェクトの検索 [14](#)
アップグレード通知 [19](#)

し

システムステータス [19](#)

す

ステータス
Informatica Intelligent Cloud Services [19](#)

せ

セキュリティ [11](#)

て

データ統合
タスクタイプ [8](#)
データトランスフォーメーションのオプション [9](#)
概要 [5](#)
データ統合テンプレート [13](#)
テンプレート [13](#)

ふ

フィルタリング [14](#)
プロジェクト [12, 14](#)
プロジェクトフォルダ [12, 14](#)

め

メンテナンスの停止 [19](#)